

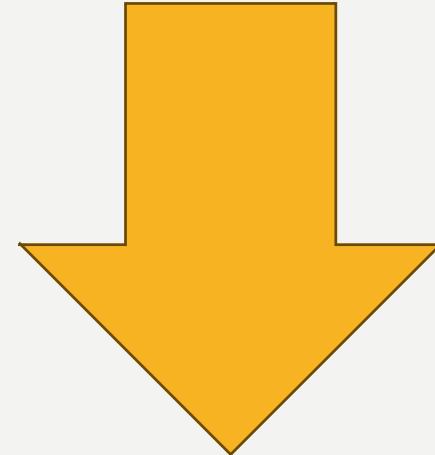
A I を使つた 仕事

少子高齢化を耐え抜く社会

私たちが思う社会課題

- ・少子高齢化

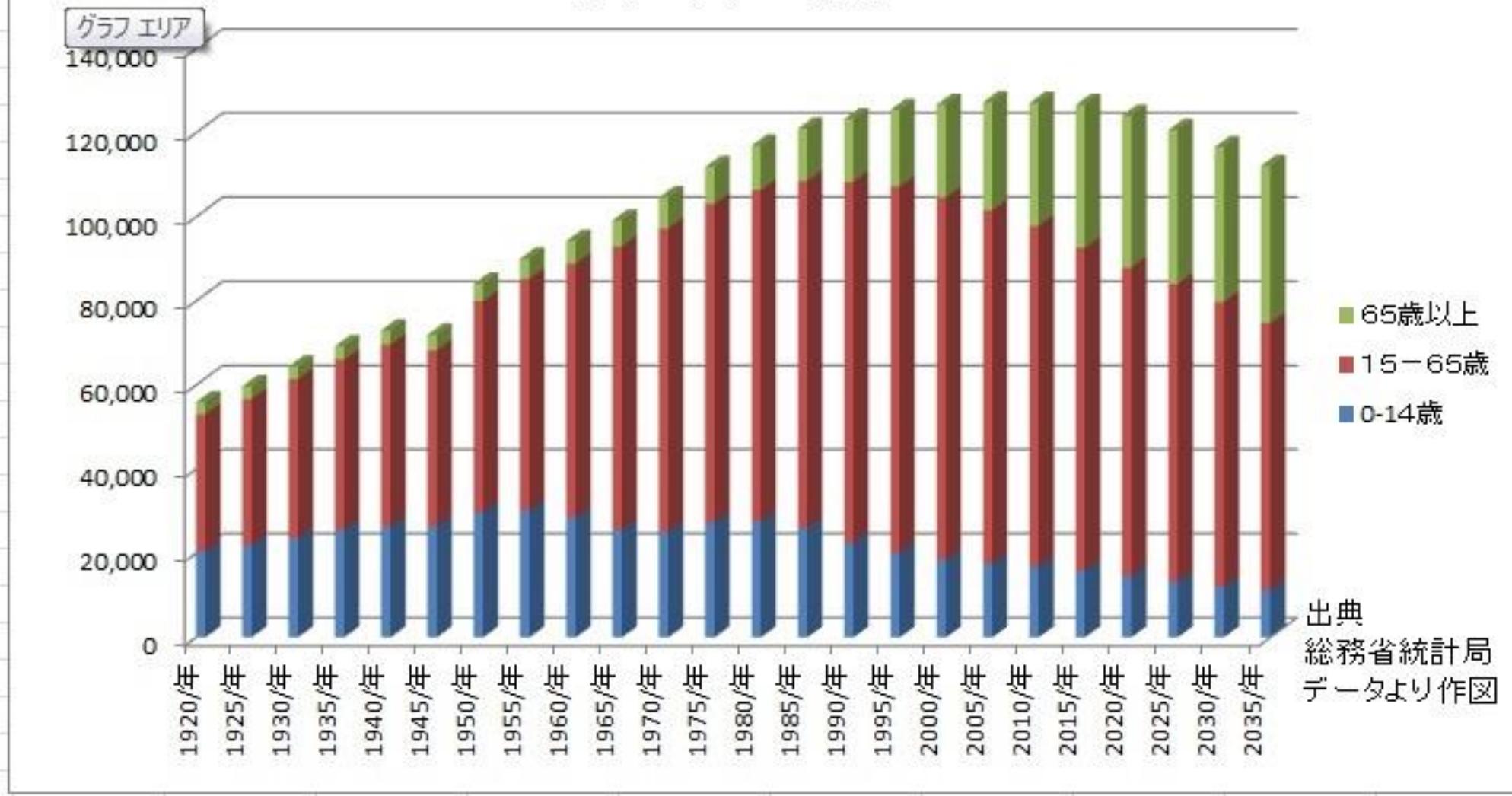
少子高齢化とは、高齢者が増えて子供が減ること



生産人口年齢が減少する

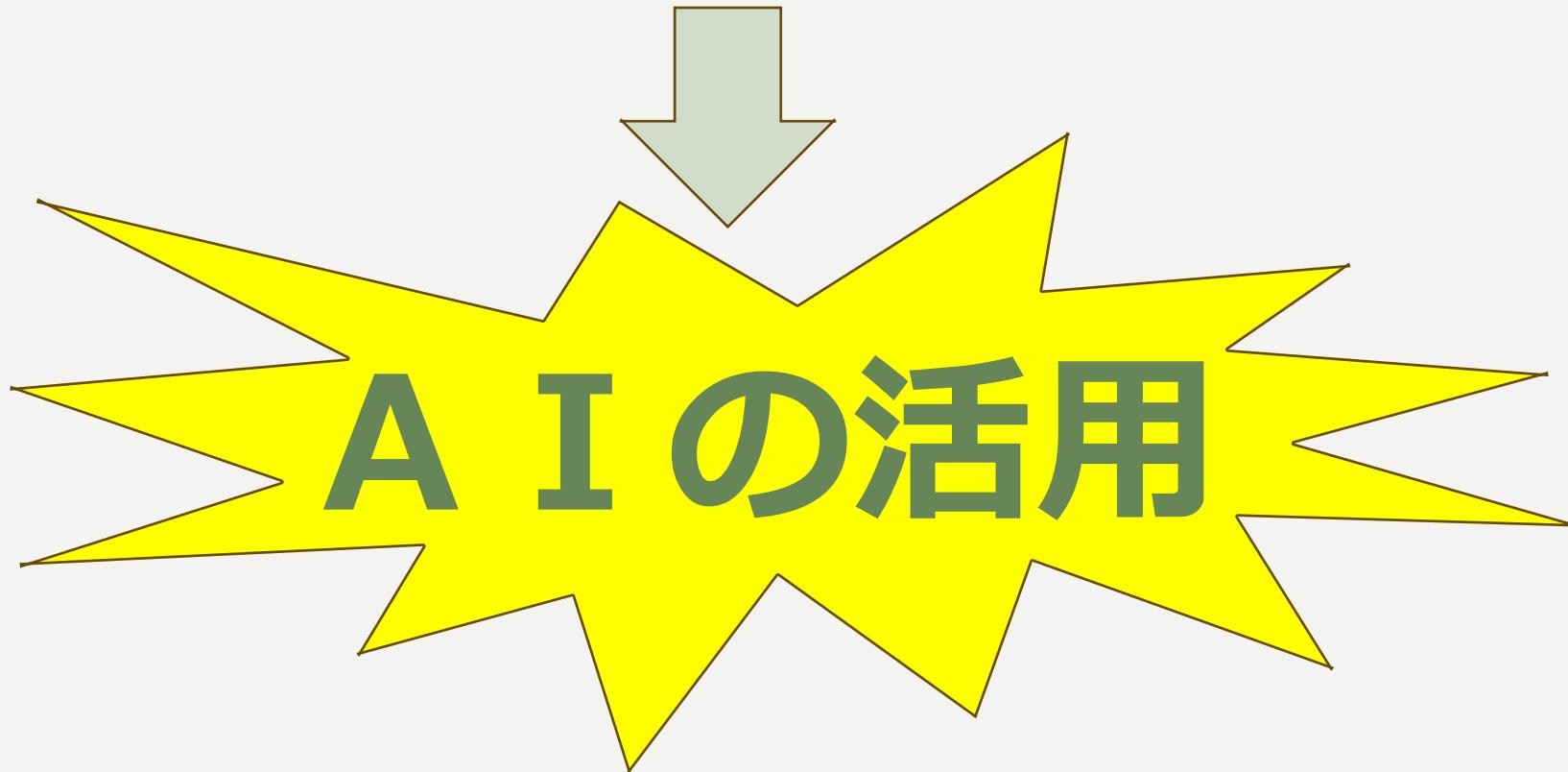
生産人口年齢とは15歳～64歳までの労働力の中心となる年齢層

日本の人口の推移



高齢者が増え、子供は減る少子高齢化社会がさらに進むことが予測されている。

少子高齢化と生産年齢人口の減少を カバーするためにどうしたらいいか



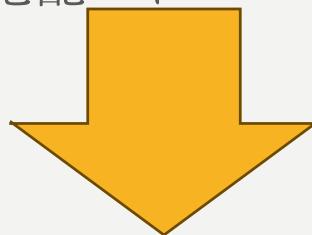
AIとは人間の脳が行ってる知的活動を同じように行うコンピューターシステム
人間と同じように自ら認識、学習、判断、予測ができる

今利用されている A I

- ・配膳ロボット
- ・タブレット注文
- ・チャットボット
- ・自動運転
- ・お掃除ロボット
- ・在庫管理
- ・教育支援
- ・クリエイティブな作業支援
- ・医療診断
- ・気候変動対策
- ・科学研究発見
- ・生成 A I
- ・サイバーセキュリティ
- ・音声アシスタント

私たちが考えるA I 活用

- ・飲食店：調理ロボットや普及して配膳ロボット
- ・ファッション店：AIを使った接客
(客が欲しい服の探索、服のオーダーメイド作成、バーチャル試着)
- ・宅配：ドローンを使う



今回は宅配について取り上げる。

宅配問題

1 再配達の増加

2 ドライバー不足：物流業界全体でドライバーが不足しており、特に高齢化が進んでいるため、若い世代の新規参入が少ない状況

3 労働環境の改善：2024年問題としてドライバーの労働時間に上限が設けられる予定。

→輸送能力が不足する懸念がある

私たちが提案するドローン宅配

商品が届くまで

- 1 ネットで注文を受け付ける
 - ①ドローンに送り先の住所が入力される
 - ②倉庫に届ける商品の情報が送られる
- 2 商品がある倉庫からロボットが商品を集めて梱包する
- 3 ドローンが商品を送る
- 4 宅配ボックスに商品を入れて注文主にメールを送る
- 5 注文主が商品を受け取る

まとめ

少子高齢化が進んでいるので、ロボットを活用して人手不足などを解決していくこうという取り組みが進んでいる。

またA Iを使って日常をもっと豊かにするA Iもあった。
バーチャル試着など

宅配ドローンの開発が進むとドライバー問題などが解消でき人々の生活が豊かになると
思う。

引用

- 総務省統計局
- gartner.com
- technologyreview.com
- ibm.com
- weforum.org
- https://www.bing.com/images/search?view=detailV2&ccid=SPlQe9v&id=EAE68737EC0BA3996CD1238D967DB652C055DC85&thid=OIP.SPlQe9vdvH5uCHHmvG4QHaEU&mediaurl=https%3a%2f%2fth.bing.com%2fth%2fid%2fR.48f96841ef6f76f1f9b821c79af806e1%3frik%3dhdxVwFK2fZaNlw%26riu%3dhttp%253a%252f%252frensa.jp%252fwp-content%252fuploads%252f2013%252f10%252fp_001.jpg%26ehk%3dM4TjcgXEw4ThY%252bpC%252buJOXNKYgXSOERn4M8Gn5Q5BB80%253d%26risl%3d%26pid%3dImgRaw%26r%3d0%26sres%3d1%26sresct%3d1%26srh%3d758%26srw%3d1300&exph=426&expw=730&q=%e6%97%a5%e6%9c%ac%e4%ba%ba%e5%8f%a3%e3%81%ae%e6%8e%a8%e7%a7%bb&simid=608042059999355645&FORM=IRPRST&ck=8830FF911D066DF3100D017CC3A0E6DD&selectedIndex=26&itb=0